

EM Bokashi（ボカシ）生ゴミコンポスト

公式取り扱い説明書（日本語翻訳版）

おめでとうございます！これからご家庭の生ゴミを素晴らしい栄養豊富な土へとリサイクルする素晴らしいステップが始まります。栄養たっぷりで生き生きとした土は、たくさんの花を咲かせ、豊かな実りをもたらしてくれるでしょう。さらに、市販の土や肥料の購入代金、ゴミ回収費用を節約できるだけでなく、環境や家族の健康にも非常に大きなメリットをもたらします。

1. セット内容の確認と準備

蛇口付バケツ1個（内側容器、密閉蓋、ハンドル）、計量スプーン1個

※発酵促進剤は付属しておりません。ホームセンターなどでお買い求めいただけます。

ご購入の際は「EM菌」入りの発酵促進剤をお選びください。

【重要】Bokashi 2.0（デザインバケツ）をお使いの方へ

Bokashi 2.0はキッチンカウンター用にデザインされています。基本の仕組みはコック付きバケツと同じですが、以下の点にご注意ください。

- ・ **パーツ構成：** 外蓋、シリコン縁付き内蓋、内バケツ、外バケツ、取り外し可能ハンドル、キャップ（栓）
- ・ **内蓋の扱い：** 空気を抜きながら、生ゴミを押し固めるようにゆっくりと内蓋を押し下げます（破損防止のため乱暴に扱わないでください。必要に応じてボトルなどで上から押し固めてください）。内蓋を持ち上げる際は、ハンドルの大きい方の半分だけを掴むと内蓋が折りたたまれて簡単に外れます。
- ・ **液体の排出方法：** 外バケツ下のキャップを外す前に、まずバケツを後ろに傾けてください（キャップを開けた瞬間に液体が飛び出るのを防ぐため）。その状態からゆっくり前に傾けて中の液体をコップ等に注ぎ、蓋付きのペットボトルなどに移し替えてください。

2. 設置場所の選び方

- ・ バケツはキッチンのシンク下など、調理スペースの近くに置くのが最も便利です。
- ・ 必ず常温（室内）で保管してください。ボカシの微生物は温暖な環境を好むため、屋外が寒い時期などは発酵が進みません。

- ~~ボカシ促進剤の袋を開封したら、一部をガラス瓶や蓋付きのプラスチック容器に移し替えて使い、残りは袋を気密状態にして「涼しく、暗い、乾燥した場所」で保管してください。正しく保管すれば約1年間持ちます。~~
- 原則として2個のバケツを交互に使用します（1個がいっぱいになったら、それを密閉して発酵させている間もう1個を使用）。

3. コンポストに入れられるもの・入れられないもの

◎ 入れてよいもの（すべての有機生ゴミ）

- 野菜やくず、果物
- 肉や魚（生、調理済み、揚げ物などすべて可）
- その他の食品（パン、チーズ、卵の殻、コーヒーの粉、ティーバッグ、パスタなど）
- 庭の花、葉、小さな小枝
- 少量のキッチンペーパーや紙ナプキン

× 入れてはいけないもの（避けるべきもの）

- 牛乳、ジュース、ソースなどの大量の液体（水分が多すぎると失敗の原因になります）
- 大きな肉の骨
- プラスチック、包装材、非有機物

4. キッチンでの使い方（実践ステップ）

ステップ1：開始時

空のバケツの底（水切り皿の上）に、まず大さじ2杯のボカシ促進剤を均等に振り入れます。

ステップ2：生ゴミの投入と促進剤の追加

生ゴミは細かく刻んで入れると、全体のプロセスが早く進みます。生ゴミをバケツに入れるたびに、生ゴミ1リットルに対して大さじ2杯を目安にボカシ促進剤を上から振りかけます。

※夏の暑い時期や、肉・魚・チーズ・卵などのプロテイン（タンパク質）が豊富な生ゴミを入れた場合は、促進剤を少し多めに振りかけてください。

ステップ3：圧縮と密閉

生ゴミを投入したら、付属のプレートなどを使って上からギュッと押し込み、できるだけ中の空気を追い出します（ただし、液体が下に落ちなくなるほど過剰に強く押し潰さないでください）。

必ず蓋を完全に閉めてください。空気の侵入を防ぐため、蓋を開けるのは1日1～2回の必要最低限に留めてください。1日分の生ゴミを小さな容器に溜めておき、1日の終わりにまとめて移すのがおすすめです。

ステップ4：ボカシ液の抽出

週に2～3回、下部のコック（またはキャップ）から底に溜まった液体（ボカシ液）を抜き取ります。数日～2週間ほどで最初の液体が出始めます（出る量や色は食材によって異なります）。

5. バケツがいっぱいになった後の「二次発酵」

バケツが満杯になったら、蓋を完全に閉めたまま、室内の直射日光の当たらない場所で「最低2週間」置いて発酵（二次発酵）させます。その間は、もう1つのバケツを使い始めてください。

- ・室温が高ければ高いほど発酵が早く進みます（ただし40度を超えないようにしてください）。
- ・この2週間の間も、週に数回コックからボカシ液を抜き取ってください。
- ・【注意】バケツの中で生ゴミが「土」に変わるわけではありません。見た目は入れた時とほとんど変わりませんが、微生物の働きで「乳酸発酵（漬物のような状態）」が完了しています。土に触れることで急速に分解されます。
- ・バケツを空にしたら水で洗い流してください。ただし、化学洗剤は微生物を殺してしまうため絶対に使用しないでください。

6. 抽出した「ボカシ液」の活用方法

ボカシ液は、室内・屋外の植物にとって非常に優れた天然の栄養肥料（液肥）になります。

① 植物への肥料・水やり（希釈して使用）

1：1000 薄め 葉面散布・種まき用の土：スプレーボトルで葉に直接噴霧します。

1：100 薄め 基本（室内・屋外の観葉植物、鉢植え、野菜）：ジョーロなどで根元に撒きます（例：5Lの水に50ml）。

1：20～50 庭木や低木：木の周囲の土に撒きます。

※水やり時に少し酸っぱい臭いがしますが、すぐに消えます。使いきれない場合は、古い土の袋やバイオ炭（バイオチャコール）のバケツに注いで、土にエネルギーを蓄えさせるのも効果的です。

② 排水口の消臭と詰まり防止（原液のまま使用）

植物への肥料が必要ない時期などは、**薄めずに原液のまま**キッチンのシンクや洗面所、お風呂場の排水口に直接流し込んでください。微生物が排水管の中の油汚れを分解し、嫌な臭いや詰まりを防ぎます。夜寝る前に流し込み、一晩放置するのが最も効果的です。

7. 発酵した生ゴミを「最高の土」に変える方法

■ 起こりうる現象（異常ではありません）

- ・ **白いフワフワしたカビ**：表面に白いカビが生えることがありますが、これは発酵が良好に進んでいる証拠（善玉菌）ですので全く問題ありません。
- ・ **青カビや黒カビ**：青や緑、黒いカビが発生したり、悪臭（腐敗臭）がする場合は失敗です。水分過多や空気の密閉不足が原因です。

【方法A】庭や畑の土に直接埋める（最も簡単でおすすめ）

1. 植え付けを行う場所（または畝の間など）に、深さ約20～30cmの溝や穴を掘ります。
2. ボカシ生ゴミを入れ、周囲の土とよく混ぜ合わせます。
3. その上に、少なくとも10cm以上の厚みでしっかりと土を被せます（動物対策）。
4. 約2週間で生ゴミは分解されて消え、植物を植え付けられる素晴らしい栄養土になります。

【方法B】プランターや「土ファクトリー（衣装ケース等）」で作る

庭が作れない冬場やマンションなどでは、大きめのプラスチック箱やプランターに「古い土」と「ボカシ生ゴミ」を交互に層にして重ね、一番上を厚い土で覆って蓋をしておきます。室内やガレージなど、凍結しない場所に置いておけば、春先にはそのまま植え付けに使える素晴らしい培養土が完成します。